

第1章 早良区「サザエさん通り」とは

1. 「サザエさん通り」とは

「サザエさん通り」とは、脇山口交差点から西新通り交差点、博物館前交差点を経てシーサイドももち海浜公園入口に至る約1.6キロの通りです。

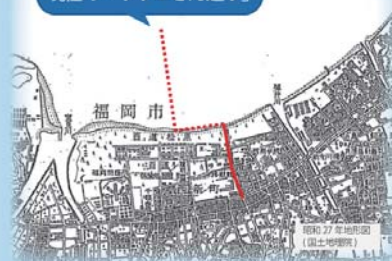
漫画家の故長谷川町子さんが、昭和20年頃に百道の海岸を散歩しながら、国民的人気漫画「サザエさん」の登場人物サザエ、カツオ、ワカメなどの名前を発案したことを記念し平成24年5月27日に命名されました。



長谷川町子さんが「サザエさん」を発案した頃の様子

長谷川町子さんは、昭和20年頃、百道の海辺を散歩していたときにサザエ、カツオ、ワカメ等の「サザエさん」の登場人物を発案しました。

現在の「サザエさん通り」



1/15000



脇山口交差点

2. 長谷川町子さんの足跡



© 長谷川町子美術館

長谷川町子さん

1920年1月30日 - 1992年5月27日

漫画「サザエさん」の作者である長谷川町子さんは、幼少期、戦中戦後を福岡で過ごしました。サザエさんの登場人物は、かつての百道の海岸で発案されました。福岡市そして早良区は、サザエさんが生まれたゆかりの地であり、長谷川町子さんとの関わりが深いまちです。

百道の海岸で登場人物を思い浮かべる



© 長谷川町子美術館

長谷川町子さんの略歴

1920年（大正9年）生まれ。佐賀県小城郡東多久村（現在の多久市）出身。日本初の女性プロ漫画家として知られる。代表作は「サザエさん」、「いじわるばあさん」、「エプロンおばさん」など。1992年（平成4年）7月、家族漫画を通じ戦後の日本社会に潤いと安らぎを与えたとして国民栄誉賞が授与された。他に第8回（1962年（昭和37年）度）文藝春秋漫画賞、第20回（1991年（平成3年）度）日本漫画家協会賞を受賞。1992年（平成4年）5月27日死去。

サザエさんと福岡

長谷川町子さんは、幼少時に福岡市に転居し、春吉小学校を卒業。旧制福岡高等女学校（現福岡県立福岡中央高等学校）2年生の1933年（昭和8年）まで福岡で育った。1934年（昭和9年）、東京に転居したが、第二次世界大戦中、1944年（昭和19年）から福岡市西新に疎開。西日本新聞社編集局絵画課に勤務した。終戦の翌日に同社を退職。その後、百道の海岸でサザエさんの登場人物を発案し、1946年（昭和21年）から福岡の地方紙「夕刊フクニチ」で「サザエさん」の連載が始まった。長谷川町子さんは、同年の暮れに東京へ拠点を移し、「サザエさん」の掲載紙も「新夕刊」を経て「朝日新聞」へと変わり、何度か中断期間を挟みながら、1974年（昭和49年）まで連載された。



© 長谷川町子美術館

3. 「サザエさん通り」誕生の経緯

かつての百道の海岸が漫画「サザエさん」発案の地であることから、市民の方々による「サザエさん」のふるさとづくりの活動が起こり、2007年（平成19年）、当時の海岸線であった磯野広場（早良区西新6丁目）に「サザエさん発案の地」記念碑が設置されました。

2012年（平成24年）2月には、西新、高取、百道、百道浜校区各自治協議会会長及び福岡西部まちづくり協議会会長の連名で、「通り名称に関する要望書」が早良区長宛に提出されました。同年3月に早良区通り名称検討委員会において、通りの範囲及び名称について検討し、起点を西新の脇山口交差点、終点をシーサイドももち海浜公園入口とする約1.6kmの通りを「サザエさん通り」とする案がまとまりました。その後、漫画「サザエさん」の著作権を有する長谷川町子美術館と、既に「サザエさん通り」がある東京都世田谷区桜新町商店街振興組合の承諾を得て、同年5月27日、早良区に「サザエさん通り」が誕生しました。多くの方々の熱意とご厚意に支えられてはじめて実現できた「サザエさん通り」です。

早良区「サザエさん通り」キャラクター

「サザエさん通り」のキャラクターは、「夕刊フクニチ」に掲載されていた頃の顔です。

長谷川町子美術館より特別に、「サザエさん」発案の地にふさわしいキャラクターとしてご提供いただいたものです。



早良区「サザエさん通り」
キャラクター



通り名称プレートを持つ
サザエさんの着ぐるみ

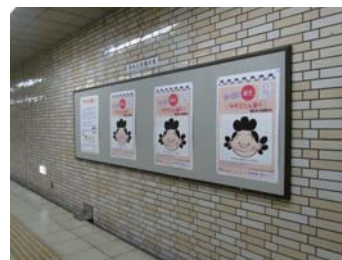
4. これまでの取り組み

2012年（平成24年）5月27日の「サザエさん通り」オープニング式典誕生パレード実施にはじまり、展示やウォーキング大会、「サザエさん通り」を生かしたまちづくりを考えるワークショップなど様々なイベントやキャンペーン活動を行ってきました。

平成24年度「サザエさん通り」関連事業

●地域・企業等での取り組み ●共働事業 ●早良区役所主催事業

	月	日	事業
平成24年度	5月	23日～6月22日	●地下鉄西新駅ポスター掲示
		27日	●サザエさん通りオープニング式典・誕生パレード実施 ●「サザエさん通り」通り名称プレート設置(20か所)
		27日～	●「サザエさん通り～長谷川町子・サザエさんとその時代～」展示(総合図書館・早良図書館) ●オープントップバスで「サザエさん通り」アナウンス開始
	6月	11日～15日	●「サザエさん通り」の紹介展示
	7月	1日～15日	●博多祇園山笠「サザエさん」飾り山(新天町)
		21日	●百道浜校区サザエさん子どもみこし
		27日	●「ももち浜です」サザエさんの歌CD化、TNC出演
		28日～	●TNC放送会館サザエさんブース開設
		30日～8月31日	●「サザエさん通り」の紹介展示
	9月	3日～11月2日	●「サザエさん通り」の紹介展示
		8日	●世田谷区桜新町ねぶた祭りへの福岡特産品出店
		—	●磯野広場「サザエさん発案の地記念碑」設置岩の向き変更 ●「サザエさん通り」通り名称自立式プレート設置(5か所)
	10月	10日	●原校区「サザエさん通り」ウォーキング大会
		14日	●さわらの秋「サザエさん通り」ウォーキング大会 ●西新・高取勝鷹夢祭り 東京桜新町商店街から、サザエさん、マスオさん、着ぐるみ来福・「サザエさん焼き」九州初上陸
	11月	10日	●西新校区「サザエさん通り」ウォーキング大会
		18日	●高取校区「サザエさん通り」ウォーキング大会
	1月	23日	●第1回「サザエさん通り」を生かしたまちづくりワークショップ開催
	2月	19日	●第2回「サザエさん通り」を生かしたまちづくりワークショップ開催
	3月	3日	●ソフトバンクホークス必勝祈願祭(勝鷹神社) サザエさん・海平さん着ぐるみ登場



平成24年5月23日～6月22日
地下鉄西新駅ポスター掲示



平成24年5月27日
「サザエさん通り」誕生



平成24年5月・9月
通り名称プレート設置



平成24年7月1日～15日
博多祇園山笠飾り山



平成24年10月14日
「サザエさん焼き」九州初上陸

平成25年度「サザエさん通り」関連事業

●地域・企業等での取り組み ●共働事業 ●早良区役所主催事業

	月	日	事業
平成25年度	4月	8日	●春の交通安全キャンペーン サザエさん、海平さん着ぐるみ参加
	5月	3日～4日	●博多どんたく港まつり西新演舞台 サザエさん、マスオさん、海平さん着ぐるみ参加
		12日	●母の日にサザエさん、海平さんがカーネーション配布
		26日	●「サザエさん通り」誕生一周年記念シンポジウム (西南学院大学)
		27日	●サザエさん1日早良区長
		27日～	●「サザエさん通り」ハッピーウェディング事業 ●「サザエさん通り」撮影コーナー開設
	6月	16日	●ラブアース・クリーンアップ2013 早良区 サザエさん、マスオさん着ぐるみ参加 (シーサイドもち)
	7月	1日～15日	●博多祇園山笠「サザエさん」飾り山(新天町・博多駅)
		9日	●「さわらの四季コーナー」サザエさんカルタ販売開始
	8月	5日	●「さわらの四季コーナー」サザエさんグッズ販売開始(クリアファイル、ノート外)
	9月	12日	●第1回「サザエさん通り」構想検討会
		14日	●世田谷区桜新町ねぶた祭り 福岡「サザエさん通り」PR
		29日	●「サザエさん通り」まちづくりワークショップ(若者) 小学生～大学生が参加したまちづくりワークショップ
	10月	6日	●「サザエさん通り」ウォーキング大会
		13日	●西新・高取勝鷹夢祭り サザエさん、マスオさん、海平さん着ぐるみ参加
		16日	●「サザエさん通り」まちづくりワークショップ(一般) 地域住民、団体、行政が参加したワークショップ
	11月	7日	●第2回「サザエさん通り」構想検討会
		16日～17日	●西新商店街連合会せいもん払い 「サザエさん通り」PRイベント
		22日	●いい夫婦の日 サザエさん、マスオさんが 新婚カップルのお祝い
	12月	9日	●第3回「サザエさん通り」構想検討会

平成25年4月8日
春の交通安全キャンペーン平成25年5月26日
誕生一周年記念シンポジウム平成25年5月27日
ハッピーウェディング事業開始平成25年9月29日
サザエさん通りワークショップ(若者)平成25年10月16日
サザエさん通りワークショップ(一般)

5. 長谷川町子美術館と桜新町の「サザエさん通り」



長谷川町子美術館



長谷川町子美術館「サザエさん展」

長谷川町子美術館

長谷川町子さんが、姉の毬子さんと共に蒐集した美術品を、広く社会に還元しようとの想いをもとに、1985年（昭和60年）11月3日に長谷川美術館として開館。それらの蒐集作品は、作家名にこだわることなく、純粋に好きな作品を購入する方法で集められたもので、その種類は日本画・洋画・ガラス・陶芸・彫塑など多岐にわたります。

1992年（平成4年）、長谷川町子さん没後は、館名を現在の長谷川町子美術館と改め、作品の収集・展示が続いています。

年に数回開催される収蔵コレクション展では、毎回テーマに沿った作品が、作家名やジャンルにとらわれることなく自由な発想で展示され、また、来館者の方々にも自由な感性でご覧いただけるようになってます。

町子コーナーでは、長谷川町子さんが描いた漫画作品、「サザエさん」をはじめとして、「いじわるばあさん」や「エプロンおばさん」などの原画や、長谷川町子さんが手がけた陶芸や水彩などの作品もご覧いただけます。また、毎年夏には全館をあげて「アニメサザエさん展」を開催し、「サザエさん」の原画とアニメの世界が紹介されています。

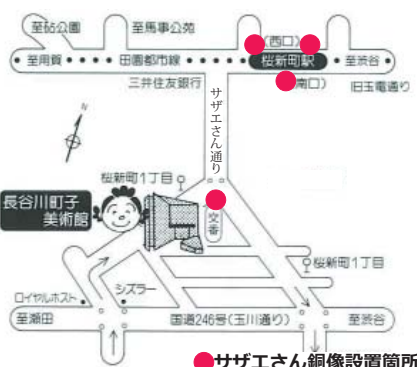


桜新町商店街 サザエさん通り

桜新町の「サザエさん通り」

桜新町商店街は、その名の通り桜が美しく咲く街、サザエさんがいつも微笑んでいる街としてよく知られています。街のあちこちでサザエさんや磯野家の人々がウェルカムボードとして迎えてくれる楽しさは、人情味あふれる商店街の温かみを一層感じさせてくれます。「サザエさん通り」は電柱と電線が地下に埋設されているため、ゆったり幅の歩道を行き来して快適に買い物や散策が楽しめます。商店街の一角にある長谷川町子美術館へはもちろん、「さくらまつり」、「ねぶた祭」といったイベントには全国から多くの人々が訪れ、地元の住民とともに街ににぎわいをもたらしています。

駅前通りと「サザエさん通り」には200を超す店舗が集まっています。漫画やアニメ「サザエさん」の登場人物をあちこちで見かけることができる商店街は、地域の住民にとって長谷川町子美術館とともになくてはならない存在として親しまれています。どのお店にも自慢の逸品があり、それぞれのお店の歴史物語を紡いでいます。近隣には桜の名所として有名な呑川の遊歩道や世田谷区代官屋敷など見どころたっぷりのスポットもあり、遠方からの来訪者も多い町です。



桜新町商店街 サザエさん通り

桜新町のイベント・ソフト事業

2012年（平成24年）に銅像が設置された際には、盛大に除幕式が行われ全国の注目を集めました。毎年春には「さくらまつり」が、また9月には「ねぶた祭」が開催されており、「ねぶた祭り」にはサザエさんのねぶたも登場します。いずれの祭りも大勢の観客を集めています。桜新町商店街ではサザエさんの缶バッジやマグカップ、Tシャツなどグッズ販売も展開しています。



サザエさん一家銅像除幕式



ねぶた祭「サザエさんねぶた」



桜新町商店街 サザエさんグッズ販売

桜新町のハード事業

桜新町駅の出入口や「サザエさん通り」の端点に銅像が設置されたり、街灯にサザエさんのバナーが設置されたりしています。また、車止めなどにもサザエさんのイラストが載っていたり、至る所にサザエさんのウェルカムボードが置かれたりと、通り一体がサザエさんで統一されています。



桜新町駅西口 サザエさん一家銅像



サザエさんのバナー



車止めなどにサザエさん



ウェルカムボード

広報

桜新町商店街から季刊紙「さくらだより」が発行されています。桜新町近辺で開催されるイベントの情報やサザエさんグッズの紹介の他、桜新町のひとの紹介や小学生の日記、桜新町の今昔の話などが載せられており、地域に密着した情報紙になっています。また、「桜新町のおともだち」として早良区の「サザエさん通り」も取り上げていただいています。

